

北海道大学病院に過去に通院又は入院された患者さんまたはご家族の方へ  
臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 持続性注射薬カボテグラビル+リルピビリン使用患者の臨床的特徴

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 菅原 満・北海道大学病院薬剤部

[研究の目的]

これまで HIV 感染症に対する治療は全て内服薬で行われてきましたが、2022年5月に日本で初めて持続性注射薬であるカボテグラビル(ボカブリア®水懸濁注)とリルピビリン(リカムビス®水懸濁注)が承認されました。持効性注射薬による治療は新たな治療選択肢として注目されていますが、注射薬で治療されている患者さんの特徴や、内服薬から注射薬への変更が患者さんへどのような影響を与えているのか十分な情報がありません。本研究では、どのような患者さんが注射薬を使用されているか、内服薬から注射薬への変更が患者さんへどのような影響を与えているかを明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

HIV 感染症の患者さんで、2022年12月1日から2024年3月31日までの間に当院で持続性注射薬ボカブリア®水懸濁注とリカムビス®水懸濁注による治療を受けた方のうち2022年12月1日時点において年齢が20歳以上の方

○利用する情報

以下の項目について、2024年6月30日までの情報を利用させていただきます。

診断名、年齢、性別、身長、体重、血液検査結果、出現した副作用、併用薬など

[研究実施期間]

実施許可日～（情報の利用開始：2024年5月頃）～2025年5月31日

2024年4月26日（第1.1版）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 薬剤部 担当薬剤師 新井 崇之

電話 011-706-3455 FAX 011-706-7616